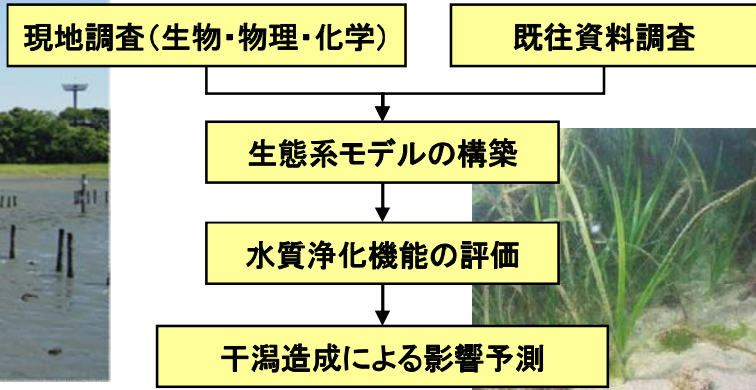


干潟・浅海域調査



＜干潟・浅海域調査の流れ＞



＜干潟・浅海域の機能＞

- ・生物生産の場
アサリ等の二枚貝や海苔養殖など水産資源の漁場となっている。
- ・生物生息の場
稚魚や鳥類等の育成の場となっている。
- ・親水機能
潮干狩りや釣りのレクリエーションを通じて海と接する場となっている。
- ・水質浄化機能
干潟内における生物の増殖や成長に使われることによる浄化の場となっている。また、食物連鎖の上位の生物が、干潟内の生物を捕食し、物質を系外へ移動することによる浄化の場となっている。

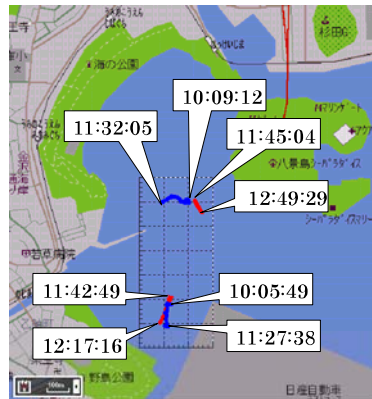
＜物理環境調査＞

安価で簡便な手法を提言します。



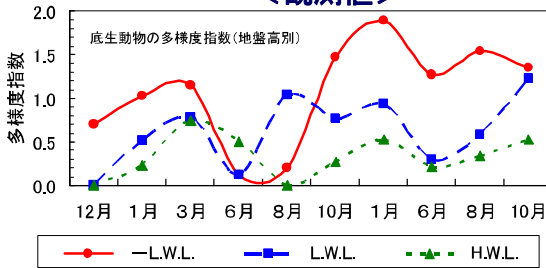
GPS測流板

GPS測量結果
面積: 58ha

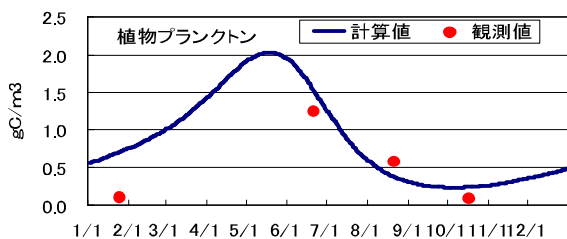


— 下げ潮時
— 上げ潮時

＜観測値＞

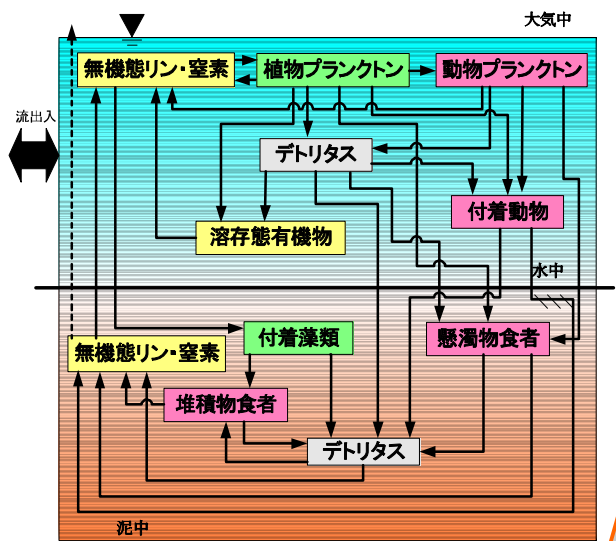


＜観測結果と計算結果＞



＜干潟生態系モデルの構造＞

シミュレーションによる評価手法を提言します。



MIKUNIYA CORPORATION

日本ミクニヤ株式会社

環境リスクコンサルティング事業 防災リスクコンサルティング事業
地球計測技術サービス事業 ISO9001 2008登録認証

ご意見・お問合せは info@mikuniya.co.jp
<http://www.mikuniya.jp>

K-006